

第19回宇宙開発委員会定例会議事次第

1. 日時 昭和46年10月20日(水)

午後2時～4時

2. 場所 宇宙開発委員会会議室

3. 議題

(1) 宇宙関係機関(電々公社、NHK
およびKDD)の宇宙関係経費
について

(2) 航行衛星について

(3) その他

4. 資料

19-1 前回議事要旨

19-2 航空衛星会議の経過について

19-3 宇宙関係機関(電々公社、NHKおよび
KDD)の宇宙関係経費について

第18回宇宙開発委員会定例会議要旨

1. 日 時 昭和46年9月29日(水) -
午後2時~4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 部会および懇談会について
(2) 部会への業務付託について
(3) ポストアポロ計画懇談会の審議報告について
4. 資 料
18-1 前回議事要旨
18-2 国際協力の基本的方策の検討について(案)
18-3 昭和46年8~9月期ロケット打上げ実験の評価
について(案)
18-4 宇宙開発を推進するために必要な信頼性向上のための
諸方策の検討について(案)
18-5 「宇宙開発長期計画調査間報告」等の検討結果に
ついて(報告)
18-6 部会および懇談会について(案)

5. 出席者

宇宙開発委員

山 県 昌 夫
網 島 毅
吉 誠 雅 夫
八 藤 東 禎

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長	石 川 晃 夫
外務省国際連合局外務参事官	石 川 良 孝 (代理:堤功一)
文部省大学学術局審議官	犬 丸 直 (代理:鈴木)
通商産業省工業技術院総務部長	片 山 石 郎 (代理:相馬)
運輸省大臣官房参事官	原 田 昇左右 (代理:高谷)
気象庁総務部長	上 平 輝 夫 (代理:中村)
海上保安庁総務部長	堤 毅 (代理:杉本)
郵政省電波監理局審議官	太 原 幹 夫 (代理:三村)
" " 無線通信部長	犬 塚 次 郎 (代理:影山)
建設大臣官房技術参事官	増 岡 康 治 (代理:石川)
宇宙開発事業団システム計画部 計画課長	嶋 田 勝 弘
" " 調査課長	会 田 一 夫
" " 調査課	高 木
東京大学宇宙航空研究所長	八 田 桂 三
" 助教授	伊 藤 富 造
" "	河 島 信 樹
" "	牧 野 正 雄
" "	大 野 勝 男

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙開発参事官

市 瀬 輝 雄 他

6. 議事要旨

(1) 第1号科学衛星の成功について

八田桂三東京大学宇宙航空研究所長から、9月28日打ち上げられ成功した第1号科学衛星「しんせい」の状況についての報告があつた。

(2) 前回議事要旨

前回議事要旨が確認された。

(3) 部会および懇談会について

資料/8-1の「部会および懇談会について」の審議を行ないこれについて、原案どおり決定した。

(4) 部会への審議付託について

部会の当面の審議事項として

イ 資料/8-2、国際協力の基本的方策の検討について

ロ 資料/8-3、昭和45年8～9月期ロケット打上げ実験の評価について

ハ 資料/8-4、宇宙開発の推進に必要な信頼性の検討について

について審議を行ない、それぞれ原案どおり決定した。

(5) ポストアポロ計画懇談会の審議報告について

網島座長から資料/8-5「宇宙開発長期計画調査団報告」等の検討について(報告)」に基づき、当面必要とする措置

報告についての説明があり、また、同報告のとりまとめについては9月13日の第7回ポストアポロ計画懇談会において同座長に一任されたものであるとの説明があつた。

これに関し、以下のような質疑応答を行なつた後、委員会として同報告を了承した。

山県：「宇宙開発長期計画調査団報告」の全文の完成はいつ頃になるか。

市瀬：約1ヶ月後になるということである。

山県：この報告に対する具体的な措置はどうか。

市瀬：NASAへの派遣等については、今年度科学技術庁予算で1人を派遣できるよう検討している。また文部省にも大学教官の派遣の検討をしてもらつている。NASAの会議の開催も年末には多くなると考えられるので、それに間に合うよう努力している。

山県：科学技術庁予算による派遣者の資格はESROからのNASAへの派遣者と同じ資格になるのか。

市瀬：そのとおりである。なお、ヨーロッパからの情報の収集も在欧アタッシェ等を活用して行なうことにしている。